

親切運動の取組について

学校名 富山市立城山中学校
生徒数 258名

1 親切運動の取組の紹介

「城中人権宣言の作成」

・ 主な取組について

本校では日頃から「思いやり」の心を育む活動に取り組んできました。その活動の一環として、毎年2学期に「人権について考える」取組を行っています。本校の学校教育目標「見つけよう 誇れる自分 育てよう 美しい心」を活動の根源として、生徒同士が日々の学校生活で、自他のよさを認め合い、互いに自分や友達を大切に思う心を育てることを目標に取り組んでいます。

人権について考える取組として、今年度は、一方的に話を聞くのではなく、「生徒一人ひとりが自分事として考える」時間を大切にしました。各クラスで人権について話し合いを行い、さらにクラス内の班ごとに「人権に関する宣言」を考案しました。「相手が嫌がることを言わない」「困っている人がいたら声を掛ける」「違いを認める」等、それぞれの班が活発な意見交換を経て、自分たちの言葉で行動目標を掲げました。



クラスから出された宣言や意見は、生徒会執行部が集約し、全校生徒の願いが込められた言葉の一つ一つを検討して、本校として目指すべき「城中人権宣言」を作成しました。そして、この宣言を一過性のものとしないう、全校集会で発表し、生徒玄関の生徒会スローガンに並べて掲示し、日々城中生が自己の言動を振り返ることができるようにしてあります。

・ 成果や課題について

「城中人権宣言」は自分たちで決めた宣言だからこそ、話し合っただけで終わりではなく、日々の生活の中で意識する生徒が多く見られるようになりました。自分たちの意見が反映された宣言であるため、生徒たちは高い意識をもって受け入れており、以前よりも、廊下ですれ違う際の会釈や、困っている友人に自然に声を掛ける姿等、宣言に基づいた具体的な行動が校内で多く見られるようになりました。

この活動を通じて、「人権について考える」行動は「特別なこと」ではなく、普段の言葉遣いや友人への接し方の中にこそあるのだと、改めて気付くことができました。これからも、思いやりあふれる城山中学校を維持していけるよう、一人一人が「城中人権宣言」を意識して生活していきたいです。

